

兵庫県CSR事業

～ 里山を活用した県民参画型の 自然活用型野外CSR事業について～



兵庫県産業労働部参事

朝 田 正 人

CSR活動とは

自由時間が増大し、価値観が多様化・個性化する中で、

知的・情操的生活の豊かさを高める文化（Culture）
健康の増進に欠かせないスポーツ（Sports）
精神的・肉体的疲労の回復に役立つレクリエーション（Recreation）

等の活動を通じた、こころ豊かな生活づくり・生きがいがづくりが求められています。

兵庫県では、昭和49年10月より関係企業の理解と協力を得て、法人県民税の超過課税を実施し、この貴重な財源をもとに、CSR活動拠点施設の整備等を行っています。

これまで「自然との親しみ・健康の維持増進・家族のふれあい」をテーマに創造的活動を発揮する場としての野外CSR施設の整備を進めてきたところですが、現在は県民の皆さんの森や緑などの自然とのふれあい志向の高まりに対応するため、これまでの野外CSR施設の考え方を基調に「人と森との共生」、「都市と山村の交流」を付加し、里山林を活用した、より自然に親しむことができる自然活用型野外CSR事業を展開しています。

また、現在の法人県民税の超過課税（第6期平成11年～平成16年）による財源では、勤労者をはじめ子どもを含む全ての県民がそれぞれの地域において、主体的かつ継続的にスポーツを中心とした地域の活動に参加できる環境を整える地域スポーツ活動支援事業 - スポーツクラブ21ひょうご - の整備を進めているところです。

CSR活動は、勤労者をはじめ広く県民の皆さんの活動の場としての施設整備や事業展開によって、県民の皆さんのこころ豊かな生活づくり、生きがいがづくりを進め、人間性に満ちあふれた文化社会を築いていくことをめざしています。

はじめに

みなさん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました兵庫県産業労働部の朝田です。本日は兵庫県CSR事業についてお話しさせていただ

く機会を与えていただき感謝をしております。今日の話をお聞きいただき、このCSR事業がいかに楽しいものかをご理解いただいて、今後皆さん方にぜひともこの事業に参加していただきたいと期待しています。

CSR事業について

CSR事業は、昭和49年10月にスタートしました。その前の約10年間くらいは、民間の景気が好調で賃金も毎年10～20%くらい増加するような高度経済成長の時代でしたが、昭和49年頃は、第一次オイルショックと公害問題も発生してきた時代で、県民の考え方、価値観が大きく変化し始めた時代です。当時若者の人口は多く、青少年の人口は総人口の32%を占め、青少年対策が県政の重要な柱に位置づけられておりました。勤労者の福祉について言えば、大企業は福利厚生制度が充実していましたが、中小企業はそうでなく、中小企業を中心とする労働者から余暇活動ができる施設の設置要望が強かった頃です。そんな中、勤労者福祉ということで、広く県民の文化、スポーツ、レクリエーション活動の場と機会を提供しようという目的ではじまったものが、CSR事業です。

この事業は法人県民税の超過課税というものが地方税法で認められておりました。それを財源として実施しているもので、何に使うかについては、1期5年ごとに基本的な方針を決めて進めています。現在は3期にわたるものを実施しておりまして、ひとつは第4期の「自然との親しみ・健康の維持増進・家族のふれあい」を基調に創造的活動を發揮させる場として計画が遅れていた神戸野外CSR施設を建設中です。

CSR事業の目的

自由時間が増大し、価値観が多様化・個性化する中で、勤労者をはじめ広く県民の文化（Culture）、スポーツ（Sports）、レクリエーション（Recreation）活動の場と機会を提供し、CSR活動を促進することにより、県民のこころ豊かな生活づくり、生きがいづくりを進め、人間性に満ちあふれた文化社会を築くことを目的とする。

また、2つめはこれが現在実施中の中心的CSR事業ですが、第5期として都市住民を中心とした森や緑などの自然とのふれあい志向の高まりに対応するため、これまでの野外CSR施設を基調に「人と森との共生・都市と農村の交流」を付加し、里山林を活用した、より自然に親しむことができる「自然活用型野外CSR事業」を県下5カ所で進めています。

さらに3つめは平成11年10月からの第6期分で、勤労者をはじめ、子どもを含む全ての県民がそれぞれの地域において、主体的かつ継続的にスポーツを中心とした地域の活動に参加する環境を整える地域スポーツ活動支援事業 - スポーツクラブ21 - の展開です。これは学校を利用して実施することから、教育委員会で事業を担当していただいています。

活動の財源

活動の財源については、先程も申し上げましたが、関係企業のご理解とご協力を得て、法人県民税の超過課税（超過課税率：第3期までは1%、4期以降は0.8%）を財源としています。超過課税期間は1期5年となっており、現在は6期目となっています。

対象企業は、資本金が1億円以上で5年ごとの各期で異なりますが、ある一定の法人税を収めていただいている企業より徴収させていただいています。景気に左右されますが、だいたい7000社強の企業さん方からのご協力を得ているのではないかと考えています。

法人県民税の超過課税は47都道府県の内46都道府県で実施されています。概して教育・文化施設の建設や福祉事業への取り組みに使われているようですが、勤労者・労働者の福祉という視点の事業に充当しているのは兵庫県だけではないかと思えます。

CSR事業の考え方の推移

次に事業実施に当たっての基本的な考え方と施設整備の方針、その変遷等についてご説明させていただきます。事業の実施については、どんな考え方の事業を行うかどんな趣旨のものを整備するかは、超過課税実施時に決めています。

第1、第2期(昭和49年10月～昭和59年9月)は、勤労者をはじめ広く県民のCSR活動を促進する活動拠点を整備することを目的に、地域ブロック(神戸、阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路)に、中央労働センターや尼崎青少

年創造劇場(ピッコロシアター)などを整備したほか、全県的施設としてフラワーセンターや文化体育館を整備しました。

第3期(昭和59年10月～平成元年9月)については、自然の中で行うCSR活動への県民の志向にこたえるため、丹波年輪の里、西はりま天文台公園など、自然との親しみ、健康の維持増進、家族のふれあいを基調とした野外活動のための施設を各ブロックごとに設置したほか、全県施設として三木山森林公園を整備しています。

この期のものとして神戸地域に、現在、神戸市北区の北神戸田園スポーツ公園内に神戸野外CSR施設を建設中であり、今年11月開園の予定

期	施設名	場所	設置年月日
第1期	フラワーセンター	加西市	昭和51年4月25日
	中央労働センター	神戸市	昭和52年1月10日
	尼崎青少年創造劇場	尼崎市	昭和53年8月19日
	淡路勤労センター	洲本市	昭和53年10月1日
第2期	丹波総合スポーツセンター	篠山市	昭和55年4月1日
	東はりま青少年館	加古川市	昭和57年4月1日
	西はりま青少年館	龍野市	昭和58年4月1日
	文化体育館	神戸市	昭和60年6月1日
	円山川公苑	豊岡市	昭和62年11月1日
第3期	丹波年輪の里	柏原町	昭和63年4月1日
	淡路香りの企園	(津)一宮町	平成元年11月1日
	西はりま天文台公園	佐用町	平成2年4月1日
	淡路ふれあい公園	緑町	平成2年4月1日
	三木山森林公園	三木市	平成5年4月1日
	東はりま日時計の丘公園	黒田庄町・西脇市	平成5年6月10日
	但馬全天候運動場	八鹿町	平成6年5月1日
	東はりま水辺の里公園	稲美町	平成7年4月1日
	神戸野外CSR施設	神戸市	平成14年11月開園予定
阪神野外CSR施設	宝塚市	調査中	
第4期	丹波の森公苑	柏原町	平成8年4月1日
	但馬ドーム	日高町	平成10年10月1日
	淡路夢舞台公苑(野外劇場及び温室)	東浦町	平成12年10月7日
第5期	やしらの森公園	社町	平成12年7月22日
	篠山地区	篠山市	平成14年7月開園予定
	中・八千代地区	中町・八千代町	平成14年度開園予定
	夢前地区	夢前町	平成15年度開園予定
	宍粟地区	山崎町	未定

で取り組んでいます。

第4期(平成元年10月～平成6年9月)の財源では、第3期と同一基調で、ただしブロックでなく、全県下を対象とした大規模かつ基幹的な野外CSR施設として、丹波の森公苑、但馬ドーム、淡路夢舞台公苑の3施設を整備しました。

第5期(平成6年10月～平成11年9月)では、これまでの取り組みにより施設整備がほぼ整ったことも踏まえ、新しい観点で取り組むことになりました。勤労者をはじめとする都市住民の自然とのふれあい志向、あるいは農山村との交流ニーズの高まりに対応するため自然とふれあえ、森づくりを楽しめる「里山」を整備することを基本的な方針として、できるだけ自然を残し、より自然に親しむことが可能な事業を展開する「自然活用型野外CSR事業」をすることになりました。荒れ放題の里山をレクリエーショ

ンのできる場として活用し、しかも地元住民と都市住民との協働作業で森を保全し、里山を復元していこうという取り組みです。これはのちほど詳しいお話をさせていただきたいと思えます。

第6期(平成11年10月～平成16年9月)では、勤労者をはじめ子どもを含むすべての県民が小学校区を基本単位とするそれぞれの地域において、主体的かつ継続的にスポーツを中心とした地域の活動に参加する環境を整えることにより、親子のふれあいを促進するとともに、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、地域スポーツ支援事業-スポーツクラブ21-を展開しています。平成17年度には県下全小学校区で展開できるよう計画しています。

1 里山林ってどんなところ?～森林のお勉強～

◎森林の種類

森林は、人の働きから大きく3つに分けることができます。

自然林

人が手をつけることのなかった自然のままの森林です。しかし、日本には自然林はほとんどありません。みなさんのまわりでは、神社の裏山などに神守の森として残されている森林が、自然林に近い森林であると言えます。標高の高い所ではシイやカシの原始森林(原始広葉樹林)が、また、冬ノ山や駒ヶ岳など標高の高い所ではブナの原始森林(原始広葉樹林)が兵庫県内の自然林の代表です。



二次林

自然林を一度伐採すると、もともとの森は約40年かかります。伐採した跡には、自然林を模倣して植えている森林が、まず、頑強い巨樹を好んで急速に成長する樹木によって森林がつくられます。



このような森林は二次林と呼ばれ、森から肥料用の腐葉マキを採るために、伐採と森林の再生が繰り返されてきました。二次林は、コナラなどの落葉樹、シイ・カシなどの常緑樹、アカマツなどから構成されています。

人工林

植林の目標などを目的として人によって植栽された林を人工林と言います。兵庫県では、スギやヒノキの森林がその代表的なものです。これらの林は、生長が早くまっすぐに育つので、建築材として好都合なのです。ただし、スギやヒノキは、一度伐採して新植すると、また苗木を植えるには約40年かかります。



◎二次林の代表が里山林!

里山林の成り立ち

今、私たちが料理をしたり、お風呂を浴びたりするときは、ガスや電気を使います。また、水田や畑に使う肥料は、落ち葉を土に混ぜて作りました。使った落ち葉の腐りから肥料が出て、15年くらいで土に戻り、また使われて薪やマキに使いました。昔はこの場所、毎年はその腐った葉を土に、毎年裏山から集めていたのです。このシステムは何百年も続きました。つい30年～40年前まではごく普通のことであったのです。このように人の生活と密着に結びついて、大切に育まれてきた林が里山林なのです。



◎里山林の現状はこうだ!

ところが、何百年にもわたって培われてきた貴重な里山林の自然が、なくなりつつあるのです。

その理由は、炭やマキなどの利用がなくなって人と里山林とのつながりが薄れてしまい、里山林を管理するための作業をしなくなったからです。そのため、森が放棄され、荒れてしまったのです。また、里山林は町に近いことから、住宅地や工業用地、ゴルフ場などの建設のために、どんどん崩壊されたことも里山林の自然に大きな影響を与えてきました。



そこで、里山林の大切さに気が付いたとき、全国的に里山林を復活していこうとする活動が盛んになってきました。それは、里山林が自然の宝庫だからです。里山林の自然は身近な自然。チョウやカブトムシにシジュウラン、カタクリなど、みんながよく知っている昆虫や植物たちが里山林の中に住んでいるのです。



コナラ林



一言
伐採後から約10年、多くの樹木が成長してはいました。

一言
伐採後約40年、ツル植物の増加により、樹の倒れやすくなっています。



ツル植物と樹木の伐採が必要です

アカマツ林



一言
樹の成長が早いため、山崩れを誘ってしまいました。

一言
マキの刈り込みによるマキの枯死と樹木の倒れやすくなっています。



枯れ木と崩壊防止が必要

2 里山林は自然の宝箱～里山林の自然を守るために～

◎里山林の自然

里山林の宝庫。それは、自然そのものです。数多くの動植物は自然の仕組みを教えてくれる教科書であり、四季折々の里山の彩りほころびを豊かにする絵画のようでもあります。

里山林では、何百もの種、虫やマキを採るなど、人が手を入れることによって、いろいろな動植物が生育する独特の生態系ができています。

里山林は、人と自然が一緒に暮らしてきたお手本なのです。



◎里山林の植物

春でも青々と葉を茂らせている森林は、樹木の種類やスギ・ヒノキの人工林ですが、里山林は主に落葉広葉樹林からなっています。このため木の中が明るく、春、赤や黄を咲かせる木には、コバノミツバツツジやオオムラサキ、ヤマザクラなどが、また、林床にはシュンラン、オオムラサキ、オオムラサキなどが花を咲かせ、山の自然美を知らせてくれます。中にはコナラやサカナグサ、カエデなどの雑草が咲き、里山林が鮮やかな色に彩られます。

◎里山林の動物

コナラやスギなどの樹木は古くから大動物、カブトムシやツツガタムシ、オオムラサキなどが密生を好んで集まっています。オオムラサキやオオムラサキも里山林の動物。目は運動しないので、キャンプをしたとき、夕方から夜にかけて出会うかもしれません。



◎宝庫を守るために

人とつなぐの道が開けたら、残った里山林は、ツルギやササ、間伐木が侵入し、荒れた里山林になりつつあります。

里山林の自然環境を守るには、昔のように山から薪やマキなどを生産できるような林にする必要はないですが、便利な生活ができるようになった今では非常に困難です。それではどうしたらよいのでしょうか。

それは、里山林に昔とは違った価値を見出し、里山林の整備を行う必要があるのです。



◎里山林の新しい価値

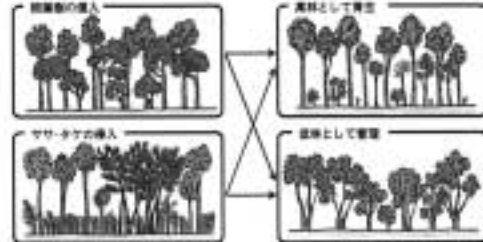
- 多くの生き物の生息場所（生物多様性の維持）
- 美しい景観を見せる場所
- 教育学習や自然観察の場所

3 兵庫県の里山林

◎コナラ林

兵庫県全域に分布する代表的な里山林です。山すそや谷間など、土壌が厚く、水分条件の良い斜面を好みます。コナラ、アベマキ、スズナギなどが優占する常緑雑種林です。これらの木は、薪の原料、薪やコナラなどの薪木として利用されてきました。この林には、ヤマザクラやオオムラサキ、ツツジ類など、花や葉が美しくたくさん咲きつづけています。コナラ林は、樹種や樹高の構成により、コナラ・アベマキ類優占コナラ・オウゴンツツジ類優占という2種が分けています。

しかし、今では、ツル植物が繁茂してコナラやアベマキを枯らしたり、間伐木やササ・タケが侵入して林相を奪ったりしています。このため、薪木や薪本種が育たず、生物多様性の高い林となっている里山が多く見られます。このようなコナラ林では、間伐木やササ・タケを伐採し、コナラの樹形を回復するよう整備しています。ただし、小規模ならば、昔のように薪材として管理することもできます。



◎アカマツ林

阪神・淡路地方など、降水量の少ない地域や、山の尾根など、土壌の厚い所に成立する里山林です。構成する樹木の種類により、県内地方ではアカマツ・モリツツジ類、尾崎地方などではアカマツ・コナラ・オウゴンツツジ類が代表種です。アカマツ林はマツタケ採取や木材生産に利用されてきましたが、今ではマツタケの減少のためにアカマツが枯死したり、間伐木の侵入が激しくなっています。



◎その他の里山林

・シイ林

間伐木により構成される里山林で、コナラ林とスギ林の中間種があります。シイ林には自然林も残っていますが、里山に多いのはシイの生育が早く、里山林として成立します。シイの木の根が腐りやすいため、薪材として利用されてきました。

・ウバメガシ林

雑草類であるウバメガシによって構成される里山林です。雑草類や雑草類の侵入の程度などによって分布します。海沿いの、潮を食った土壌が育ちやすい里山に多いウバメガシの里山林です。ウバメガシは、薪材の原料となります。

出典：社団法人 兵庫県森と緑の公社「里山の自然を学ぼう！」

自然活用型野外CSR事業について

自然活用型野外CSR事業は、自然とのふれあい、都市と農村との交流、環境問題、自然について県民の方々の関心が高まる中、「県民の参画と実践により、森林の保全と創造を進め、地元住民と都市住民、世代間の交流の場、親子・家族のふれあいの場を提供するとともに、人と自然が共生する豊かな森づくりを推進する」ことを目的としています。

『里山の保全と創造 - 自然とのふれあい、森づくりを楽しめる里山』

- ・地元住民と都市住民との共同作業による森林の保全と里山景観の創造
- ・都市住民の参画を図るためのCSR活動拠点の整備

事業地については、やしろの森公園（社町上久米、55ha）、篠山地区（篠山市川原：255ha）、中・八千代地区（中町靴屋・八千代町仕出原、248ha）、夢前地区（夢前町寺：201ha）、穴粟地区（山崎町国見山、365ha）の5カ所を対象に事業を推進しています。都市圏からのアクセスがよく、自然林が残っており、昔地域の人々が里山として生活に利用していたところを選定しています。現在開園しているのはやしろの森公園ですが、今年の7月にはささやまの森公園（仮称）を開園する予定であり、他の地域についても順次開園していく予定です。

事業地の整備にあたっては、里山の自然環境の保全と育成・活用を図るため、環境に配慮した必要最小限の整備を行うこととしています。

具体的には、林相整備、作業道の整備、貴重種を始めとする動植物の生息空間を創造するための「森林の保全と里山景観の創造にかかる

●特徴 重要文化財の弥勒寺があり、農村集落の奥には静かなため池があります。周辺には畑田風景が立地しています。

◆交通 中国自動車道「福崎IC」から車で15分

① 夢前地区

●特徴 雄大なダム湖や美しい渓流があります。周辺にはレストランや宿泊施設、特産品の加工体舗施設、市民農園が立地しています。

◆交通 中国自動車道「加西IC」から車で20分

② 中・八千代地区



●特徴 多くのため池と水田があり、いろいろな生き物を見ることができます。周辺にはキャンプ場が立地しています。

◆交通 中国自動車道「滝野社IC」から車で10分
JR加古川線「社町駅」から、神姫バス「滝野台生息教育センター」行き終点下車徒歩20分

③ 社地区

●特徴 比較的標高の高い山並みが、美しいダム湖を抱き囲んでいます。周辺には、旧街道沿いの歴史資源が立地しています。

◆交通 舞鶴道「丹南福山IC」から車で30分

④ 種山地区

基盤整備」、里山の保全活動の打ち合わせや木工クラフトなどの各種プログラムの実施場所、来園者への事業地案内などのための「活動拠点施設の整備」、炭焼き小屋、田畑・果樹園、散策道、観察デッキ、ビオトープ池、広場、東屋等の「自然とのふれあい、里山を楽しめる諸施設の整備」等最低限の整備にとどめています。

また、この事業の大きな特徴なのですが、運営については、各地区の特性を生かした多彩なプログラムを、地元住民と都市住民で構成する「運営協議会」が主体となって、ボランティアの皆さんに自主的な取り組みを行っていただくことにしています。やしろの森公園の場合ですと、団体代表、市民委員、運営スタッフ等で構成されている「やしろの森公園運営協議会」を中心としながら、20数名の運営スタッフや60数名の活動スタッフと呼ばれるボランティアの人々の手で、アイガモ農法やきのこと栽培など社地域の特性を活かした各種プログラムを企画し、実施しています。各地区ともボランティアが重要な位置を占めることから、県では、開園前に、県民の皆さんを対象に事業の周知や開園後たくさんの県民の方々にボランティアとして参加していただきたいとの思いから、除間伐や間伐材を利用したベンチづくりなどの先行的保全活動というものを実施しています。皆さんにも一度参加していただければと思います。

また、公園内で実施されるプログラムについても、大きな特徴があります。ここを地元住民と都市住民、世代間の交流の場や親子・家族のふれあいの場として利用していただくという側面と、人と自然が共生する豊かな森づくりを推進するという側面の2面を有しています。そのため実施するプログラムも大きく分けると3つの内容で実施しようと考えています。

ひとつは、里山学習講座、里山リーダー養成講座など森づくりを推進する人材養成や環境保全の体験学習プログラム

二つは、炭焼き体験、自然観察会、里山遊び、

里山クッキングなど県民の皆さんが森に親しみ、楽しみながら森の大切さを考えることができるような、地域特性を生かした四季折々のプログラム

三つは除間伐、植栽、間伐材を利用した散策道づくりなどボランティアによる森の保全・創造活動です。

この3つの事業を好きなところだけでなくぜひ3つともやっていただきたいと考えています。森に親しみ、親しみを持ちながら森を考えていくことは重要なことであり、このために「運営協議会」を中心に、各種のプログラムを提供していくことは意義があります。しかしそれだけでは豊かな森づくりは実現しないので、プロ



グラムの提供と同時に個人や団体等による森づくりを、長い期間の中で実施していくことが必要だと考えています。そのためには、多くの方々に各地区の活動を自分たちの森として愛着を持っていただいて、例えば一定のエリアを自らの手で定期的に除間伐を行ったり、植樹をしたり、散策道をつくったり、自分たちの「森」をつかっていってほしいと考えています。皆さん方にも「運営協議会」主催の各種プログラムに参加するだけでなく、ぜひ各地区の森づくりに積極的に参画していただきたいと思っています。

皆さんには、まだイメージがわからないかもしれませんが、少しやしるの森公園のホームページで、活動内容等を紹介します。

<http://www.ddknet.ne.jp/~satoyama/index.html>

3月のプログラム情報

【ミニ公民館「110番学校」】

- 4月 公民館「110番学校」
- 5月 公民館「110番学校」
- 6月 公民館「110番学校」
- 7月 公民館「110番学校」
- 8月 公民館「110番学校」
- 9月 公民館「110番学校」
- 10月 公民館「110番学校」
- 11月 公民館「110番学校」
- 12月 公民館「110番学校」

【ミニ公民館「110番学校」】

- 4月 公民館「110番学校」
- 5月 公民館「110番学校」
- 6月 公民館「110番学校」
- 7月 公民館「110番学校」
- 8月 公民館「110番学校」
- 9月 公民館「110番学校」
- 10月 公民館「110番学校」
- 11月 公民館「110番学校」
- 12月 公民館「110番学校」

【ミニ公民館「110番学校」】

- 4月 公民館「110番学校」
- 5月 公民館「110番学校」
- 6月 公民館「110番学校」
- 7月 公民館「110番学校」
- 8月 公民館「110番学校」
- 9月 公民館「110番学校」
- 10月 公民館「110番学校」
- 11月 公民館「110番学校」
- 12月 公民館「110番学校」

【ミニ公民館「110番学校」】

- 4月 公民館「110番学校」
- 5月 公民館「110番学校」
- 6月 公民館「110番学校」
- 7月 公民館「110番学校」
- 8月 公民館「110番学校」
- 9月 公民館「110番学校」
- 10月 公民館「110番学校」
- 11月 公民館「110番学校」
- 12月 公民館「110番学校」

スポーツクラブ21とは

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp>

21世紀を迎え、さまざまな変化が予想されるこれからの社会において、地域の人々が一緒になって、スポーツを通じた子どもたちの健やか

**みなさんのまちに
地域スポーツクラブ
をつくりましょう!!**

スポーツクラブ21ひょうご

※1 地域スポーツクラブとは、地域の住民が主体的に活動し、地域に貢献する目的で組織される団体です。地域の人々が一緒になって、スポーツを通じて子どもたちの健康増進を図ることにも、地域の人々も自ら積極的に参加していただくことを目指しています。

※2 兵庫県では県内すべての公立小学校に、地域に貢献する目的でスポーツクラブ21を設置することを推進しています。

神戸新聞
2000.2.7

**兵庫県内全市町村小学校区
スポーツクラブ設置**

法人向け発表 110番新人
読者誌199年計画 地域と文化推進

兵庫県教育委員会は、地域に根ざしたスポーツを通じた子どもたちの健康増進を図る目的で、小学校区に設置する「地域スポーツクラブ」の設置を推進している。2000年度からは、法人関係の推進員110番新人が、小学校区ごとに設置する。推進員は、地域に根ざしたスポーツを通じて、子どもたちの健康増進を図ることにも、地域の人々も自ら積極的に参加していただくことを目指しています。

推進員は、1999年度に設置した110番新人が、地域に根ざしたスポーツを通じて、子どもたちの健康増進を図る目的で、小学校区に設置する「地域スポーツクラブ」の設置を推進している。2000年度からは、法人関係の推進員110番新人が、小学校区ごとに設置する。推進員は、地域に根ざしたスポーツを通じて、子どもたちの健康増進を図ることにも、地域の人々も自ら積極的に参加していただくことを目指しています。

推進員は、1999年度に設置した110番新人が、地域に根ざしたスポーツを通じて、子どもたちの健康増進を図る目的で、小学校区に設置する「地域スポーツクラブ」の設置を推進している。2000年度からは、法人関係の推進員110番新人が、小学校区ごとに設置する。推進員は、地域に根ざしたスポーツを通じて、子どもたちの健康増進を図ることにも、地域の人々も自ら積極的に参加していただくことを目指しています。

な人間的成長を目指すとともに、地域のみなさん自らの健康増進を図っていくことが求められています。

兵庫県では県内すみずみまで小学校区を基本に、地域のだれもが参加することのできるみなさんの手によるスポーツクラブの設置を支援しています。

結 束

本格的な成熟社会を迎えた今、CSR活動は、様々な交流やネットワークをベースに、個々人の能力、経験などを生かした主体的な活動へのニーズの高まりとともに、自律した県民の皆さんが一定の役割と責任を担う参画と協働システムづくりが求められてきています。こうした時代に対応したCSR活動の一層の促進を図ることが重要な課題となっています。

一方、環境に目を転じると21世紀は「環境の世紀」と言われ、自然との共生を目指した循環型の社会経済システムが求められています。

自然活用型野外CSR事業は、CSR活動のひとつのメニューであり、その活動を行っていく中で、森、里山の再生を目指すものです。

どうか皆さん方、個人や団体、あるいはあいゆう会で、この事業に参加していただき、興味をもっていただき、さらに里山の保全についての運営にも参画していただくことを期待しております。

本日はご静聴ありがとうございました。

以 上

(文責：井上 育也)

あさだ まさと 朝田 正人プロフィール

経歴：

- 1944年 生まれ
- 1967年 甲南大学経済学部卒
- 1992年 4月 総務部教育課長
- 1995年 3月 阪神・淡路大震災復興本部総括部次長
兼渉外部教育課長
- 1995年 4月 阪神・淡路大震災復興本部総括部次長
- 1998年 労働部次長
- 2000年 4月 産業労働部参事（雇用ネットワーク推進担当）